



Info&Report 編

科学展覧会・創意工夫展覧会の審査が終わりました

記念すべき70回を数えます科学展覧会には47作品、創意工夫展覧会には48作品が集まりました。

	出品点数	金賞	銀賞	銅賞
科学展覧会	47	3	13	31
創意工夫展覧会	48	2	13	33



9月12日(火)に各校から1名の審査員に集まっていた
だき1次審査を、13日(水)には2次審査を行いました。

1次審査では、まず全員で創意工夫作品を見ました。

夏休みの思い出を形にしたもの、家族を助けるために
工夫した道具、水害時の避難に対応したもの、暑さ対策の
ものなど、たくさんのアイデアがあふれる作品がありました。
そのまま商品化すれば売れそうなものも多くありました。そ
の中から、銀賞候補を15点決めました。



翌日の2次審査では、3名の審査員に銀賞候補の作品
を見ていただき、

- ・ナイロン袋を1枚ずつ取り出す道具(小学3年生)
- ・停電時に使うランタンライトをペットボトルで試行
したもの(小学5年生)

の2点が金賞に選ばれました。



科学展の審査は、まず1次審査を3つのグループ(下学
年・上学年・中学)に分かれていただき、グループごとにま
ずは銀賞候補15点を選びました。

翌日、2次審査で、各グループから1点ずつ金賞を決め
ました。

科学展で金賞になった3作品とその講評です。

・雲のふしぎ (継続) (小学3年生)

雲という身近な自然現象を捉え、日常生活の中から疑問を見つけ、ずっと継続して時間をかけて観察・追究しているところがすばらしい。

観察の視点は、季節による違い、雲と天気との関係、めずらしい雲の観察と、どの視点も子供らしい発想で研究を進めている。

観察の結果は写真・図・グラフなどで分かりやすくまとめられており、今後も引き続き研究していただきたい。

・野菜の水分量3 ~NO.1 はさ・し・す・せ・そ?~ (継続) (小学6年生)

継続研究3年目ということで、毎年、まとめた結果から次への疑問を見だし、実験方法を工夫しながら、研究を進めているところがすばらしい。

考察もしっかりしており、表やグラフ(実際の写真も加えて)を活用して、しっかりまとめている。

この作品を仕上げるためのたくさんの時間と努力が想像できる、すばらしい作品である。

・割れないシャボン玉のヒミツ (中学2年生)

大きなシャボン玉を作るためにシャボン液の濃度、材料、砂糖の添加量、吹き口の大きさなどについて筋道を立てて実験・観察し結果を考察した。評価の観点としては、

- 1 動機(研究の目的)とまとめが整合している。
- 2 実験・観察、条件、結果が筋道を立て展開されており、考察につながっている。
- 3 予想や考察を自身の言葉で考え、展開している。
- 4 表面張力などについても考えていて、まとめている。

の4点が挙げられる。

「何に取り組み、何がわかったか」が分かりやすく記述されている。

科学展・創意工夫展の作品は、まさに問題解決力や探究学習の力が発揮されているものだと思います。

身近にある自然の中の疑問や問題、生活上の課題を敏感にキャッチし、それに働きかけていく子供たちを育てていきましょう。

先生方には、夏休み前から、子供たちの自由研究を指導していただき、ありがとうございました。

なお、科学展の金賞は、県科学展覧会に出品いたします。